



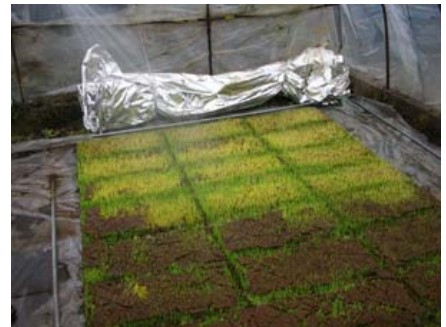
## トピックス

- いよいよ「田植え 2007」。
- 今年の苗と田んぼのデキは？

- エリの地道な営業。成果は・・・
- 我田引水、血を見る水争いを体験！？
- 第一回田んぼでビーチバレーボール

日中は汗ばむくらいの陽気になってきました。皆様は連休をどう過ごされましたか？我が家の連休は、恒例の田植え。今年の田植えの様子をご報告します。

先月の通信で、種を撒いたところまでご紹介しました。種まきから約1週間後に、保温と保湿のためにかけておいたシートをはがします。しっかり芽が出てるかな！？出ていました、出ていました。種の上にかぶせてあった土を持ち上げて、しっかり苗が育っています。まずはしっかりと水をかけて土を落とすと、土がかかっていた部分は緑ではなく黄色っぽくなっています。でも心配はいりません。2、3日もすれば日を浴びてきれいな緑色になるのです。



土が乾いたら水をやり、晴れて暑くなる日はビニールハウスを開ける。日に何度も様子を見ること約2週間。田植えの2日ほど前に、代掻き（しろかき：田に水を入れて土を混ぜ水もちを良くして、平らに均す作業）が終った田んぼへ運び出します。去年も苗だしを手伝ってくれた友人が今年は我が家に居候中。2年目で慣れているためか、耕太との息もぴったり。とても効率よく運び出すことができました。



そしていよいよ田植え。予定していた5月1日（耕太の誕生日！）は雨天のため1日延期。翌日には雨が上がり、耕太の同級生が鹿児島から応援に駆けつけてくれました。阿蘇をバックに田植え作業をする姿がカメラマンの意欲をそそるようで、毎年アマチュアカメラマンや観光客が車を止めて撮影していきます。シャイな耕太は「またか」と言って嫌がりますが、苗を渡すために畦で待っている私はすかさず営業。「この田んぼでは無農薬のお米をつくっているんですよ！」すると決まり文句のように「こんな素晴らしいところでできるお米はさぞかしおいしいでしょうねえ」と返ってきます。そこで間髪をいれず「はい、おいしいです！」とにっこり笑顔で。この道端営業で予約が取れたためしはないのですが、



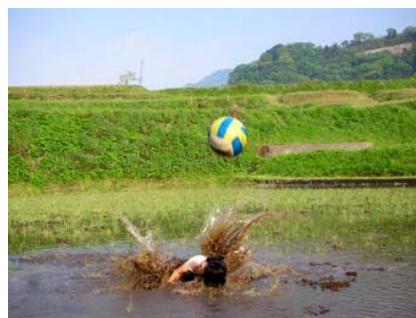
地道な努力がいつかは実るかも！？ ちゃっかり写真も撮ってもらいました。

お米作りも 5 年目になった耕太。変わった形の田んぼでもきれいに植えていきます。さすが！ 励志おじは他所の田植えを受託作業。「励志ちゃん、うちのも植えて」という依頼が次々と来るのです。隣の田んぼでは 80 を過ぎたおじいさんが自ら植えていますが、やはり自分ではできないから、と頼む人は年々増えるばかり。励志おじ、てんてこまい！

植えられたばかりの苗は、ひよろひよろとして心もとなく見えます。根が張り出すと急に元気がよくなるのですが、それまでは風に吹かれるとゆらゆら。田に残っていたワラに押されてぐらぐら。そのうえ今年は晴天が続いたため、水が思うようにたまらないものだから、なんだか余計に心配です。天気のせいばかりかと思っていたのですが、実は水がかからないのには他の理由がありました。そう、水争いです。よく見ると、隣の田んぼには水がたっぷり。おかしいと思って水路を調べると、うちの田んぼに通じる取水口が閉じられているではないですか！ 植えたばかりの苗は水に漬かっていたいもの。そこで取水口をしっかりと開けて水がくるようにするのですが、しばらくして耕太が見回りに行くとまた閉じられている。これこそ「我田引水」。コンクリートでできた水路は水漏れがなく、しっかりどの田んぼにも水がかかるのですが、この辺りの水路は昔ながらなので、虫は出るし情緒もあるのですが、モグラが穴を開ければ漏り、他所が水をとれば水が入らないところが出てきます。それにしても、敵(?) もかなりのツワモノ。耕太と近所のおじさんの攻防は夜中の 2 時まで続き、ようやく我が家の田んぼに水をためることができました。耕太は 5 時に起きて取水口を元通りにしてきたそう。昔は血を見る争いがあったのもうなずけます。



一年で最も忙しい時期ですが、楽しみがないとやはり続きません。代掻き前の田んぼで、ビーチバレーボール大会をしました。急な呼びかけにもかかわらず、集まってくれた友人たち。本格的にネットも張り、コートもつくり、泥だらけになって、最後は川にドボン。子供に返りました。予想以上に大好評だったので、毎年恒例にしたいと考えています。桔平と連蔵もマッ裸で参加。皆さんもよろしければ是非ご参加ください！ もちろんビキニ大歓迎です。



さて、これから入梅までの素晴らしい初夏をどうぞ満喫されてくださいね。